

一般質問



行財政改革大綱について

投票所の改革について

八柳良太郎

行財政改革大綱について

質問 行財政改革大綱には「質の高い市民サービス」の提供と成果として満足が得られるよう行政運営を目指すとされている。めざす将来像と切迫する財政状況とのギャップを埋め合わせるため、行財政改革を今の時代にふさわしいものへと変える必要を明記している。中長期的視点に立った財政運営の健全化が必要と思う。今後の経常収支比率、起債制限比率の見直しについて伺いたい。

市長 財政指標については、現在の数字をベースに総合計画の実施計画をもとに、総合的な見方の中で、無理な投資をせずに財政状況を見ながら現状より悪くならない事を基本に実施していく。

職員の適正化について

質問 国は、昨年五月の行政改革推進法で五年間の目標として地方公務員の削減目標を四・六パーセント以上とした。仙北市は、十年間で削減目標を三分の一としたが、この五年間の削減目標が七十五人ではスローペースでないか。また、給与は現行のまま推移する予定なのか。ダウン

もありうるのか、市長の考えはどうか。

市長 定員適正化計画の中で十年後の職員数は三百四十人の目標である。分庁舎方式の中で必要な各年度の人数であるが、住民サービスの質を落とすことなく、業務の見直し等、改善しながらできるだけ目標達成できるようにしたい。

質問 第三セクターへの補助金、委託料について、また（株）アロマ田沢湖の長期借入金五千万円について詳しく説明して欲しい。

市長 仙北市の第三セクターには、補助金としての支出はない。あくまでも委託料としての支出である。また委託料のない第三セクターもある。

秋田内陸線には、十八年度予算で五千三百万円の運営費補助金がある。

（株）アロマ田沢湖の借入金の件は、五年据え置きで十九年度から十年間での返済となっている。

アンテナショップの内容について

質問 特産品の販売が中心になると思うが、どんな物売るのか。目玉となるブラ

ンド品はなにか。建物の面積は、派遣人員も含めて予算の概要はどうかとなっているのか。

市長 仙北市の農産物の販売を中心に考えている。一月に担当者が、荒川区の現地視察などを行ってきたが、まだ検討中で場所も決定していない状況である。

若者の定住促進のために

質問 人口の落ち込みは地域市の消滅を意味する。仙北市として若者の出会いの場、その機会を提供すべきと思うがどうか。

市長 若者に限らず、人の集まるイベントを中心とした、仙北市全体の活性化の中で若者の出会いの場に貢献できればと思っている。

質問 現在、仙北市の十五才から四十四才までの人口は、八千八百六十三人である。若者や、子育て世帯に対して定住促進団地が必要と思うが、市長の考えはどうか。

市長 民間業者の状況を見ながら、どこに、どの位、必要なのか検討したい。

投票所の改革について

質問 若い人の投票率が低いといわれている。投票所の雰囲気等があまり良くない

ことも要因のひとつであると思う。投票所に配置される人の仕事の内容、必要な人数は何人か。

名前を書く時、全員に見られているように感じる投票台の位置など、配置を考えてもらいたい。

静かすぎて書く音が聞こえるのではないかと思う。バックミュージックを流されないか。以上、三点について伺う。

選管 投票所に配置される人員は、管理者一名、職務代理一名、立会人（民間）二名、受付一名、他二名の合計七名である。

バックミュージックについては、四十三カ所ある投票所のなかで数カ所ですべて実施してみたいと考えている。



荒川区の商店街